2010 年 10 月 14 日

＊＊国連関係者も来館、難民問題への理解を呼びかけます＊＊

２作品を無料上映

「第５回 UNHCR 難民映画祭 2010」開催

10／22（金）・23（土）　ワーナー・マイカル・シネマズ 三田ウッディタウン

株式会社ワーナー・マイカル

『扉をたたく人』
©2007 Visitor Holdings, LLC All Rights Reserved.

『君のためなら千回でも』
©2007 DreamWorks LLC and Kite Runner Holdings, LLC.
All Rights Reserved.

㈱ワーナー・マイカルは、難民をテーマにした映画作品を上映する「第 5 回 UNHCR※難民映画祭 2010」を 10 月 22 日（金）、23 日（土）に、ワーナー・マイカル・シネマズ 三田ウッディタウンで開催いたします。

本映画祭は全国 11 カ所の会場で 10 月 30 日（土）まで順次開催。県内では当劇場で『扉をたたく人』、『君のためなら千回でも』の 2 作品を無料上映いたします。

世界各地で迫害や紛争を逃れ、今なお避難生活を強いられている 4 千 3 百万人以上もの難民・避難民。本映画祭は彼らが抱える問題を、映像を通じて広く知っていただこうと 2006 年にスタートしました。今年はミャンマーからの難民の受け入れプロジェクトの初年度に当たることもあり、国内でも身近な問題として関心が高まっています。初回の上映前には、国連難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所のヨハン・セルス駐日代表（22 日）、国連 UNHCR 協会から中村恵さん（23 日）が登壇し、難民救援活動の紹介や難民問題への理解・支援を呼び掛け、ご挨拶いたします。ぜひこの機会にご鑑賞ください。

■主　　催：国連難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所、
　　国連 UNHCR 協会
■特別協賛：イオン 1%クラブ
■協　　力：イオンシネマズ株式会社、株式会社ワーナー・マイカル
■日　　程：2010 年 10 月 22 日（金）、23 日（土）
■登 壇 者：22 日・ヨハン・セルス（Johan Cels） UNHCR 駐日事務所 駐日代表
　　23 日・中村恵（なかむら めぐみ） 国連 UNHCR 協会 事業部シニアマネジャー
■内　　容：16：30～ 国連担当者よりご挨拶
　　『扉をたたく人』上映
　　19：00～『君のためなら千回でも』 上映
■鑑賞料金： 無料
　　※入場は無料ですが予約が必要です。予約方法は下記ホームページをご覧ください。
　　1上映につき 200 名、満席になり次第予約終了させていただきます。

http://www.warnermycal.com/nanmin/

UNHCR 駐日事務所
駐日代表 ヨハン・セルス

※UNHCR（United Nations High Commissioner for Refugees）：国連難民高等弁務官事務所
※上映開始時刻は 20 分前後変わる可能性があります。正確な時刻は 1 週間前に各劇場ホームページにてご確認ください。
※プログラム・上映スケジュールに関する情報は、公式サイトに随時発表いたします。 http://unhcr.refugeefilm.org

■上映作品概要

『扉をたたく人』
アメリカ／2007／フィクション／104 分
監督：トム・マッカーシー　　配給：ロングライド

孤独に暮らす大学教授のウォルターはふとしたことから、若いカップルと共同生活を送ることになる。ジャンベの演奏を通じて交流を深めていく彼だったが、ある事件をきっかけに楽しい日々が一変し・・・。リチャード・ジェンキンスの静かながらも力強い演技が、9・11 以来閉ざされてしまったアメリカの良心の扉をたたく。

『君のためなら千回でも』（原題：The Kite Runner）
アメリカ／2007／フィクション／129 分
監督：マーク・フォスター　　配給：角川映画

1970 年代のアフガニスタン。裕福な家の息子アミールは、召使いの息子ハッサンと兄弟のように仲よく暮らしていた。だがある日、二人の絆は思いがけない出来事によって砕け散ってしまう。やがてソ連がアフガニスタンに侵攻。アミールと父親は米国に亡命。時は流れ、2000 年のサンフランシスコ。小説家となったアミールの元に、「君は今すぐ故郷に帰って来るべきだ」との知らせが…。